

2021年度 教務部・研修係年間計画

I 活動方針	<p>学習指導要領のねらいや本校の児童の実態を踏まえて授業力の向上を図る研修や基本的な学習指導等のあり方について研究推進に取り組む。</p>
--------	--

II 活動の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・視点を意識した授業や活動を通して、成果や課題を発見・改善し、児童の学力を向上させる。 ・日常的に授業を参観し合い、学校全体の児童の課題を共有し、その改善策を追求・実践する。
----------	--

III 活動計画

	分掌業務項目	業務内容	担当	時期（学期）			
				1	2	3	通
①	学校課題、研究課題解明の研究体制と推進に関する事項	研究主題の決定・校内研究活動の計画		◎			
		研究推進委員会の開催		◎			○
		研修だよりの発行					◎
		研究集録の発刊・原稿集約				◎	
		校内授業研究の企画・提案		◎			
②	日常授業に生きるミニ研修の実施	ミニ研修会の計画・実施					◎
		道徳教育・道徳科に関する研修の実施					◎
③	各種研究会、研修会、講習会への参加	研究・研修会案内の回覧・申し込み希望の集約。 (申し込みは本人。申込書コピーの提出。)					◎
④	職員図書保管と購入計画に関する事項	研修図書の選定・購入・保管管理 ・希望をとりながら予算内で購入を行う。 ・保管は資料室（職員室内）。使用しやすい整理に努める。					◎
⑤	その他、研修に関する事項	後志へき地・複式教育研究連盟との連携・調整		◎		◎	○

<p>*別紙 研究係 年間推進計画</p>

2021年度 研修係 年間推進計画

I 研究主題

豊かな言葉で伝え合える子供の育成
～国語科における言語活動の充実を目ざして～

II 主題設定の理由

全校児童30名の本校は、1, 2年生が単式で、3・4年生、5・6年生学級が複式となっている。児童の約半数が児童福祉施設から通学しており、年度途中の転出入も多く見られる。全体的には明るく素直な気持ちをもっている児童が多く、全校遊びや縦割り班活動などで上級生が下級生の面倒を見るなど、学年に関係なく遊びや活動に取り組んでいる。

本校児童の特徴として、「語彙力の不足」「漢字を使わない」「単語での会話」など、言葉の力の不足が挙げられており、これらは、本校児童の生育環境などから今後も本校の課題となり続けるであろうと思われる。

このような実態をふまえ、令和元年より2年間、国語科（説明文）の研究を行い、語彙力を中心とした基礎的な言語能力の定着をはかるための研究を進めてきた。毎日の日記指導・漢字指導・言葉調べなどを全校統一して行い、順序立てて文を書く力や、今まで使ったことがない言葉を駆使して日記を書くなど、日常的な取組を展開してきた。また、生活面でも順序立てて話すことができるよう清掃活動後の反省や生活目標の反省等、学校生活全体で児童の論理的思考を促すような取組を進めてきた。

今年度からは昨年度の取組を継続するとともに、児童一人一人が語彙力を身につけ、身につけた語彙を用い、授業や日常生活で自己表現できるよう更に取組を進められるよう、国語科（物語文）で研究を進めていく。

III 目指す子供像

主体的に読み、豊かな言葉で表現できる子

IV 研究の仮説・内容

仮説1：言葉の力を高める取り組み

漢字の学習、語彙力の充実を図ることにより、語句の意味や使い方に対する認識が深まり、言葉を自覚的に用いることができるであろう。

視点1：言語環境を整える

- ① 日記の取組～「ことばのたからばこ」の中の言葉を使い、毎日の日記に取り組む。
- ② 辞書引き ～単元計画の中に意味調べの時間を設け、新しい言葉にふれる機会を
 コトバンク つくる。
- ③ 学習用語 ～単元に出てくる言葉を掲示し、自力での課題解決のヒントとする。
- ④ 漢字指導 ～漢字指導の方法を統一し（学年に応じる部分もある）、自主的に学ぶ姿勢をつくる。
 漢字テストのデータ化。
- ⑤ 読書活動 ～「寿都町図書室」「学校図書」の活用
- ⑥ 視写（低学年）

仮説2：考えの形成の育成

話す・聞く・読む・書くという具体的な活動を重ねたり、主体的に学んだことを互いの立場や考えを尊重し理解し合ったり（共有）、互いの考えに適切に対応する力（交流）を育てることができるであろう。

視点2：学年に応じた話し合う力

- ①比較力 ～自分の考えと比較しながら聞く力
- ②交流力の意図の明確化～方向づけ・学びの修正・解決・発表
低学年は「型」を意識した話し合い活動。高学年はより話し合いを深める話し合い活動。
- ③交流力の形態の明確化～個人・ペア・グループ・全体
- ④交流の視点の明確化

視点3：潮路スタイルでの授業づくり

- ①単元計画の明確化～どの場面で、何を書き、何を話し合わせるのか。
- ②教室環境 ～自力解決に必要な学習用語ヒントの掲示
- ③物語文指導モデル～

<p>1、範読 わからない言葉にはサイドライン（鉛筆）を引く 読めない漢字にはふりがなをふる</p> <p>2、辞書引き・コトバンク サイドラインを引いた言葉を調べ、コトバンクにまとめる</p> <p>3、単元計画を立てる（確認する）</p> <p>4、物語の内容を深める</p> <table border="0"><tr><td>○場面の構成</td><td>○物語（場面）の内容を劇のように演じる</td></tr><tr><td>○場面の展開</td><td>○お話マップ（お話の図・人物関係図）</td></tr><tr><td>○登場人物の性格や行動</td><td>○一文で書く</td></tr><tr><td>○中心人物の心の変容</td><td></td></tr><tr><td>○クライマックスを見つける</td><td></td></tr></table> <p>5、あらすじをまとめる</p> <p>6、言語活動の展開</p> <p>展開例</p> <table border="1"><tr><td>○登場人物へお手紙を書く</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○挿絵にフキダシをつけて、セリフを想像して書く</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○お話マップ</td><td>○ポップ作り</td><td>○劇</td><td>○すきな場面の音読</td><td>○魅力紹介</td></tr><tr><td>○すきな所の紹介</td><td>○本の推薦文を書く</td><td>○音読劇</td><td></td><td>○本の帯</td></tr><tr><td>○ペープサート</td><td>○並行読書</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	○場面の構成	○物語（場面）の内容を劇のように演じる	○場面の展開	○お話マップ（お話の図・人物関係図）	○登場人物の性格や行動	○一文で書く	○中心人物の心の変容		○クライマックスを見つける		○登場人物へお手紙を書く					○挿絵にフキダシをつけて、セリフを想像して書く					○お話マップ	○ポップ作り	○劇	○すきな場面の音読	○魅力紹介	○すきな所の紹介	○本の推薦文を書く	○音読劇		○本の帯	○ペープサート	○並行読書			
○場面の構成	○物語（場面）の内容を劇のように演じる																																		
○場面の展開	○お話マップ（お話の図・人物関係図）																																		
○登場人物の性格や行動	○一文で書く																																		
○中心人物の心の変容																																			
○クライマックスを見つける																																			
○登場人物へお手紙を書く																																			
○挿絵にフキダシをつけて、セリフを想像して書く																																			
○お話マップ	○ポップ作り	○劇	○すきな場面の音読	○魅力紹介																															
○すきな所の紹介	○本の推薦文を書く	○音読劇		○本の帯																															
○ペープサート	○並行読書																																		

発達段階に応じた言語活動の例

【低学年】

- ①主語と述語（例えば、性質、状態、関係など）を明確にして表現する。
- ②比較の視点（例えば、大きさ、色、形、位置など）を明確にして表現する。
- ③判断と理由の関係を明確にして表現する。
- ④時系列（例えば、まず、次に、そして、など）で表現できる。
- ⑤互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合う。
- ⑥書いた物を読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合う。
- ⑦文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合う。

【中学年】

- ⑧判断と根拠、結果と原因の関係を明確にして表現する。
- ⑨条件文（例えば、「もし、〇〇〇ならば、△△△である」）で表現する。
- ⑩科学用語や概念を用いて表現する。
- ⑪互いの考えの共通点や相違点を整理し、司会者や提案者などの役割を果たしながら、進行的に話して話し合う。
- ⑫書いた物を発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合う。
- ⑬文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付く。

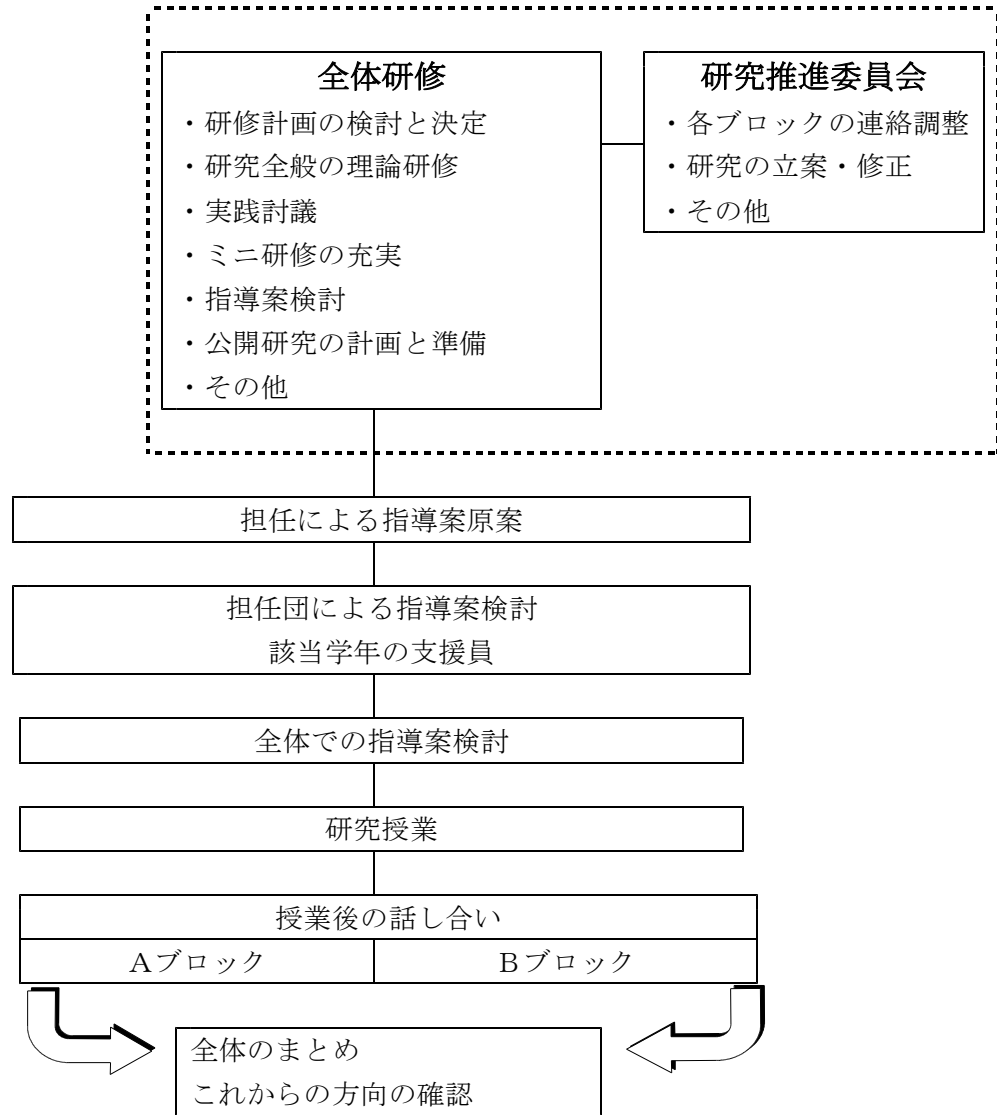
【高学年】

- ⑭演繹法や帰納法などの論理を用いて表現する。
- ⑮規則性やきまりなどを用いて表現する。
- ⑯互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合う。
- ⑰書いた物を発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合う。
- ⑱本や文章などを読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。

V 推進計画

年次	段階	主な活動
1年次 令和3年度	研究の方向付け と実践検証	○研究概要の確認、修正 ○各学級での実践交流 ○理論研究 ○校内研究授業の実施と検証 ○他校研究会への参加 ○今年 度の評価と次年度への課題
2年次 令和4年度	研究のまとめと 課題の整理	○研究概要の見直し ○各学級での実践交流 ○理論研究○校 内研究授業の実施と検証 ○他校研究会への参加 ○研究のま とめと次年度の研究に向けて

VI 【研究組織】



【組織の構成】

◆研究推進委員会

研修係（ ○○・○○・○○・○○ ） 教頭

◆ブロック

Aブロック	○○・○○・○・校長・支援員・○
Bブロック	○○・○○・○○・教頭・支援員・○○

※支援員3名配置の際は低・高の支援学年を中心に配置。

※ブロックの構成メンバーは、前期後期等で入れ替える。

◆授業後のファシリテーターは、輪番で行う。

Ⅶ全体構造図

豊かな心で学び続ける たくましい子の育成

◎ よく考え 進んで学ぶ子 (知) ◎ 明るく 思いやりのある子 (情)

◎ ねばり強く やり抜く子 (意) ◎ すこやかで たくましい子 (体)

学校教育目標

重点目標：感性や創造性を発揮し、可能性に挑戦する子供の育成

研究主題

豊かな言葉で伝え合える子供の育成
 ～国語科における言語活動の充実を目ざして～

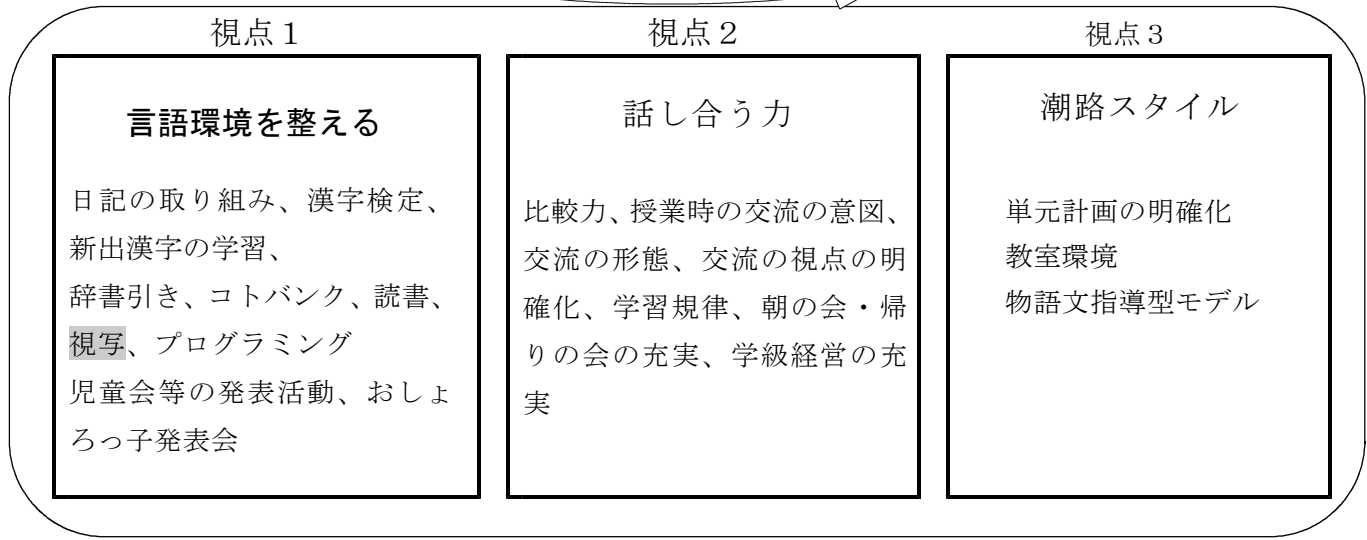
目指す子供像

主体的に読み、
 豊かな言葉で表現できる子

仮説1：言葉の力を高める取り組み
 漢字学習、語彙力の充実を図ることにより、語句の意味や使い方に対する認識が深まり、言葉を自覚的に用いることができるであろう。

研究仮説

仮説2：考えの形成の育成
 話す・聞く・読む・書くという具体的な活動を重ねることで、互いの立場や考えを正しく理解しあったり(共有)、互いの考えに適切に対応する力(交流)を育てることができよう。



Ⅷ年間計画

月	日		研修内容	ミニ研修
			・漢字ドリルの精選 ・学習用語の配付 ・「ことばのたからばこ」シート	
4	5	①	おもしろスタイルについて 研究内容、推進計画と今年度の全校での取り組み	潮路スタイル 算数科・国語科
			*ミニ研修アンケート実施 ○hyper-QUの活用の仕方 ○AED、応急処置の仕方 ○不審者対応の仕方 ○嘔吐処理の仕方 ○特別支援教育の情報提供 ○道徳 ワークシート	
	22	②	担任団 今年度の活動	ミニ研修①(全)
5	20	③	研究授業①担任団指導案検討	ミニ研修②(全)
6	24	④	研究授業①指導案検討(全)	ミニ研修③(全)
7	15	⑤	研究授業①事後研	
8	19	⑥	道徳科 ワークシート検討	ミニ研修④(全)
8	26	⑦	研究授業②担任団指導案検討	ミニ研修⑤(全)
10	28	⑧	研究授業②指導案検討(全)	ミニ研修⑥(全)
11	4		研究授業②事後研	
1	20	⑪	研修のまとめ・次年度に向けて	
2	3	⑫	研修のまとめ・次年度に向けて	
3			研究集録発刊	
*各種研究会・研修会に参加後は、ミニ研修での報告を随時予定しています。				